

中部防災ニュース

平成29年
4月号

発行
静岡県中部危機管理局
電話 (054) 644-9104
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

ごあいさつ

いつも中部防災ニュースをお読みいただき、ありがとうございます。

この度、中部危機管理局長に着任した絹村です。当局では、平常時は、防災に関する様々な地域支援や啓発活動を行っており、この防災ニュースも各事業所における防災の取組の一助となるよう、タイムリーな情報提供を心掛けています。5年目を迎える中部防災ニュースを今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

中部危機管理局長 絹村 敏美



防災活動に取り組む事業所を紹介します。

焼津市の「サッポロビール株式会社静岡工場」を訪問し、沿岸部における防災の取組について、お話を伺いました。



応対いただいた大山副工場長、柴田さん、佐々木さん

サッポロビール(株)静岡工場

○津波に対する備えはどのようなことをされていますか？

工場敷地は、県の第4次地震被害想定で最大浸水深3m。従業員の避難場所を施設の2階以上に確保しました。

○工場内の備蓄はどうされていますか？

食糧、簡易トイレ、毛布のほか、発電機や衛星携帯電話などを、津波の浸水に備えて、建物2階に配備しています。

○地域との防災上の連携は何かされていますか？

工場内のタンクに水を蓄えていますので、災害時にこれを近隣住民の皆さんに飲料水として提供するよう、焼津市と協定を結んでいます。また、研究所を津波の緊急避難場所として地域の皆さんに開放することにしています。

○今後の取り組みについて教えてください。

想定外の津波も考慮して、工場内のさらに高い場所に避難できるようにしたいと思います。そのための経路の安全対策を検討中です。いろいろ課題もありますが、「人命最優先」で取り組んでいきます。

所在地：焼津市浜当目
設立：1980年4月
事業：ビール、発泡酒等
酒類の製造



県第4次地震被害想定津波浸水域
(レベル2津波の最大浸水域重ね合わせ図)

3月11日・焼津市東益津地区の夜間津波避難訓練レポート

サッポロビール静岡工場の協力の下、焼津市東益津地区で夜間津波避難訓練が行われました。同工場と地元自治会は、2011年8月に研究所屋上を緊急時の避難場所とする旨の覚書を結んでおり、これまでも訓練を重ねてきましたが、今回は初の夜間訓練。研究棟横のテニスコートに約120人の住民が避難しました。

訓練には、大山副工場長など工場スタッフも駆けつけ、地域住民との顔の見える関係を築いていました。



夜間避難訓練の様子

